

令和2年度 大分県商店街実態調査報告書

大分県商工観光労働部 商業・サービス業振興課

- 調査概要 3
- 調査結果 4
 - 問1 5
 - 問2 13
 - 問3 14
 - 問4 15
 - 問5 16
 - 問6 17
 - 問7 18
 - 問8 19
 - 問9 20
- アンケート調査表

調査概要

商店街の会員数や空き店舗数等の実態把握を目的に県内商店街組織を対象にアンケート調査を実施したものの。

平成20年度から平成27年度までは県内の商店街振興組合へのみ調査していたが、平成28年度から範囲を広げ、協同組合や任意団体も含む、県内の全ての商店街組織へ調査を依頼した。

1. 調査時点：令和3年1月31日
2. 配布数：90団体
(振興組合：21、協同組合：10、任意団体：59)
3. 回収数：59団体
回収率：65.6%

市町村別回答状況

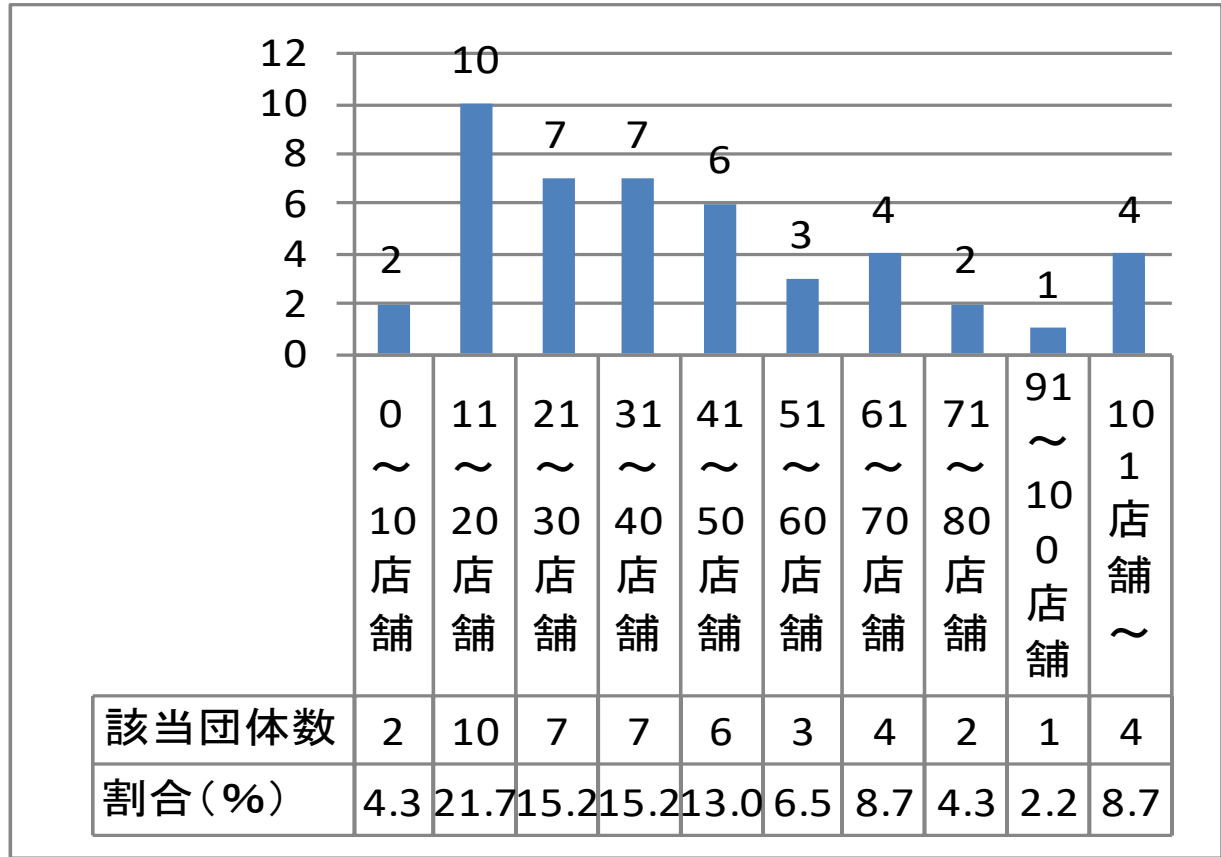
市町村	商店街数	回答数	回答率
大分市	19	12	63.2%
別府市	13	11	84.6%
中津市	4	3	75.0%
日田市	13	9	69.2%
佐伯市	7	5	71.4%
臼杵市	5	2	40.0%
津久見市	6	4	66.7%
竹田市	1	1	100.0%
豊後高田市	7	4	57.1%
杵築市	1	1	100.0%
宇佐市	1	0	0.0%
豊後大野市	1	1	100.0%
由布市	4	3	75.0%
国東市	2	2	100.0%
姫島村	0	0	-
日出町	0	0	-
九重町	0	0	-
玖珠町	2	1	50.0%
計	86	59	68.6%

問 1 貴商店街の現状 (令和 3 年 1 月 3 1 日現在)

■ 「全店舗数」について

- ・有効回答数：51 団体
- ・合計値：2,718 店舗
- ・平均値：53.3 店舗

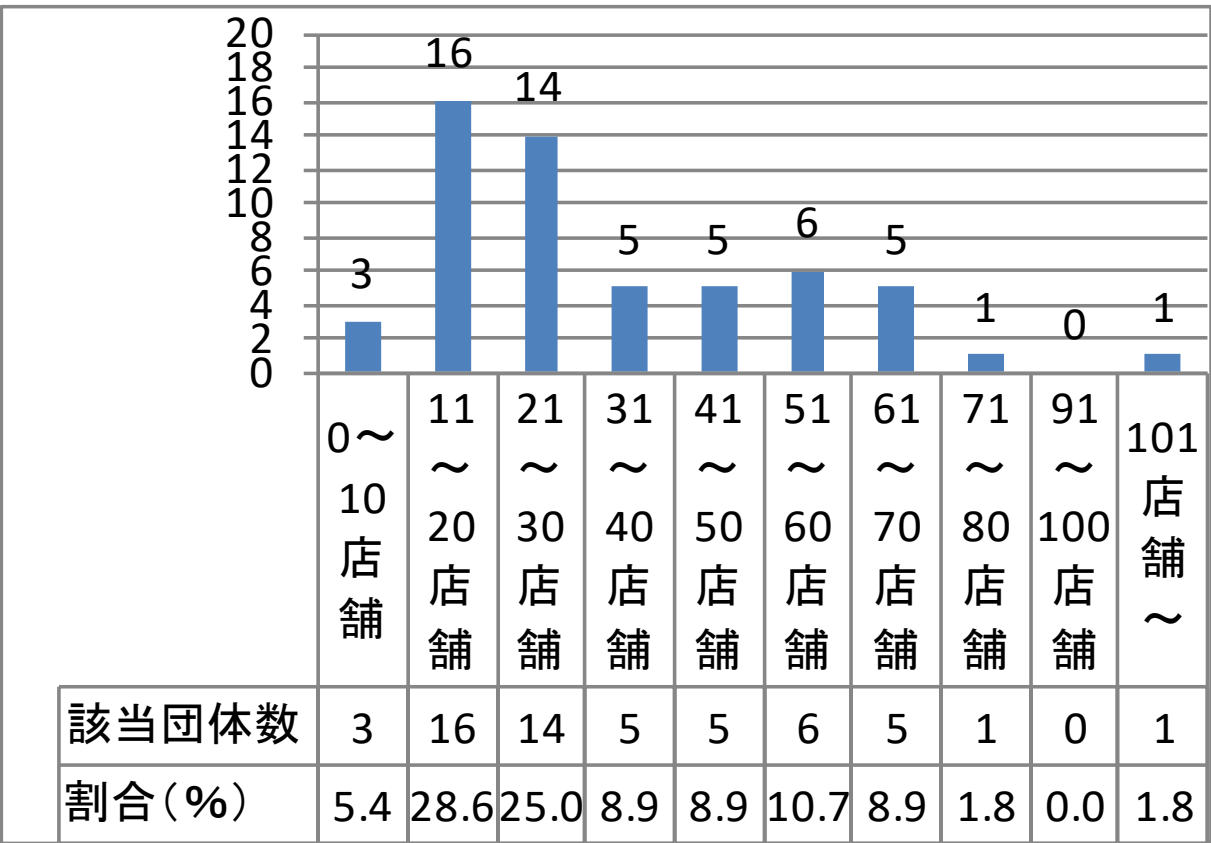
全店舗数：商店街区にある全ての店舗数
(商店街会員等以外の店舗や空き店舗も含む)



問 1 貴商店街の現状 (令和3年1月31日現在)

■ 「会員店舗数」について

- ・有効回答数：59団体
- ・合計値：2,117店舗
- ・平均値：35.9店舗

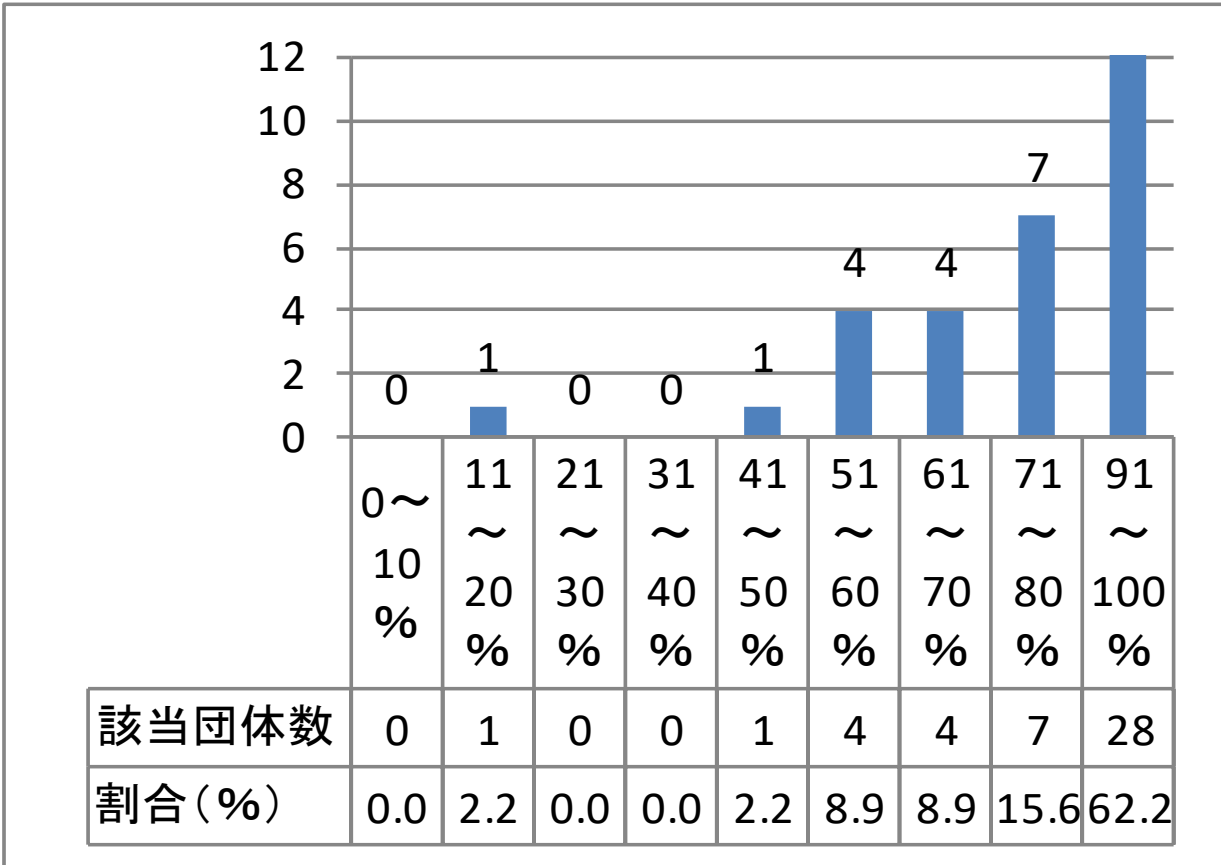


問 1 貴商店街の現状 (令和3年1月31日現在)

■ 「組合加入率」について

- ・有効回答数：58団体
- ・平均値：76.9%

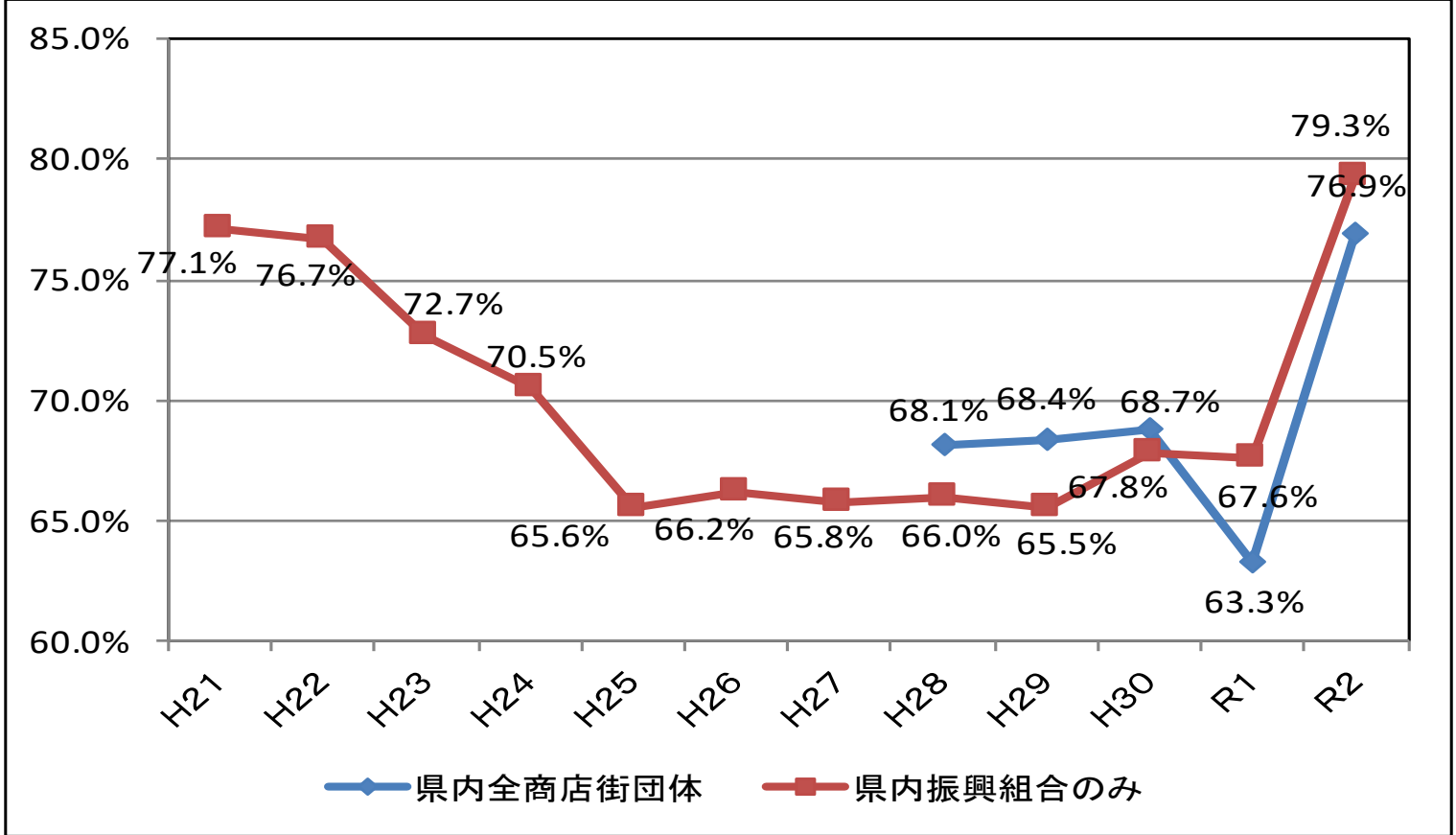
組合加入率：
 $\frac{\text{会員店舗数}}{\text{会員店舗数} + \text{非会員店舗数}}$



問 1 貴商店街の現状（令和3年1月31日現在）

■ 「組合加入率」の推移について

組合加入率：
会員店舗数 / (会員店舗数 + 非会員店舗数)



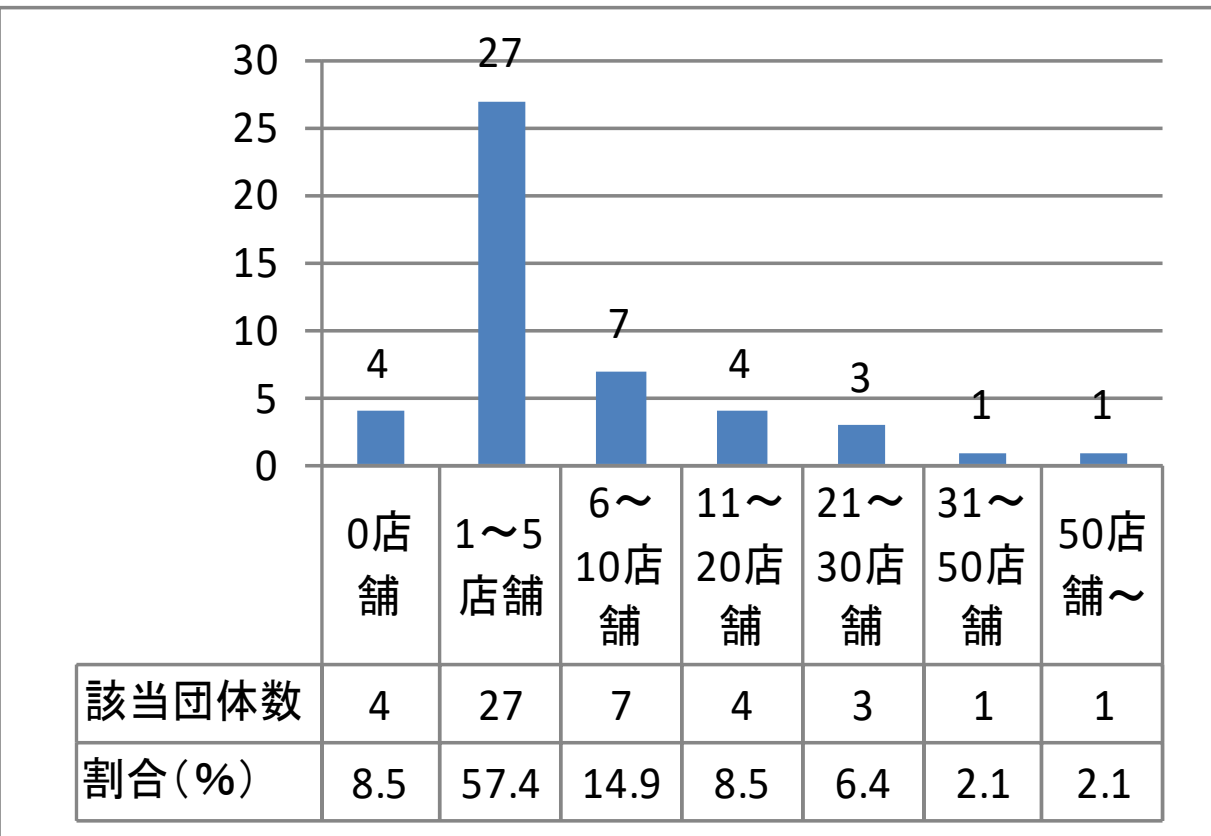
※県内全商店街を対象とした調査は平成28年度より実施

問 1 貴商店街の現状 (令和3年1月31日現在)

■ 「空き店舗数」について

- ・有効回答数：47団体
- ・合計値：348店舗
- ・平均値：7.4店舗

空き店舗：従前商店として利用されていたものであって、内外装を施す程度で店舗として利用できるもの。
(住居やオフィス用等に改装され今後商業利用が困難な店舗や、既に建物が取り壊され駐車場や空き地になっているものを除く)

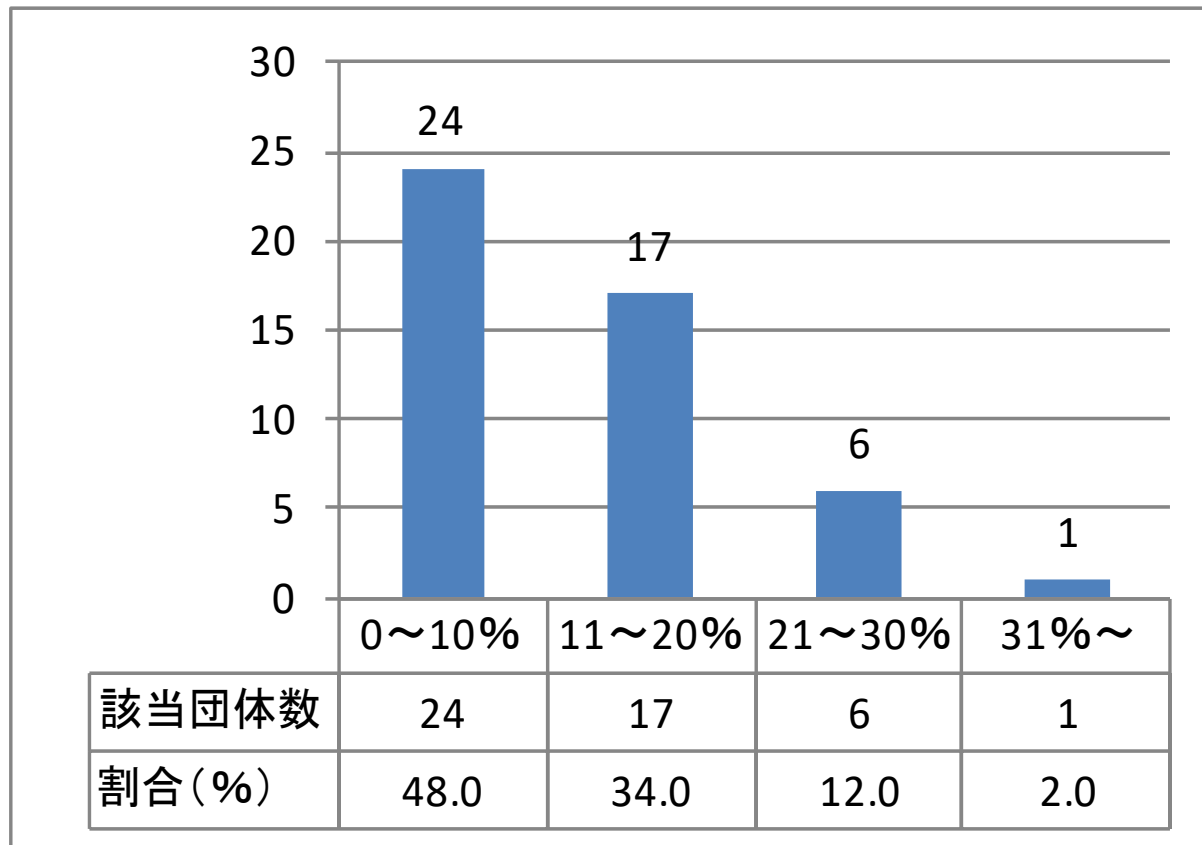


問 1 貴商店街の現状 (令和3年1月31日現在)

空き店舗率：空き店舗数／全店舗数

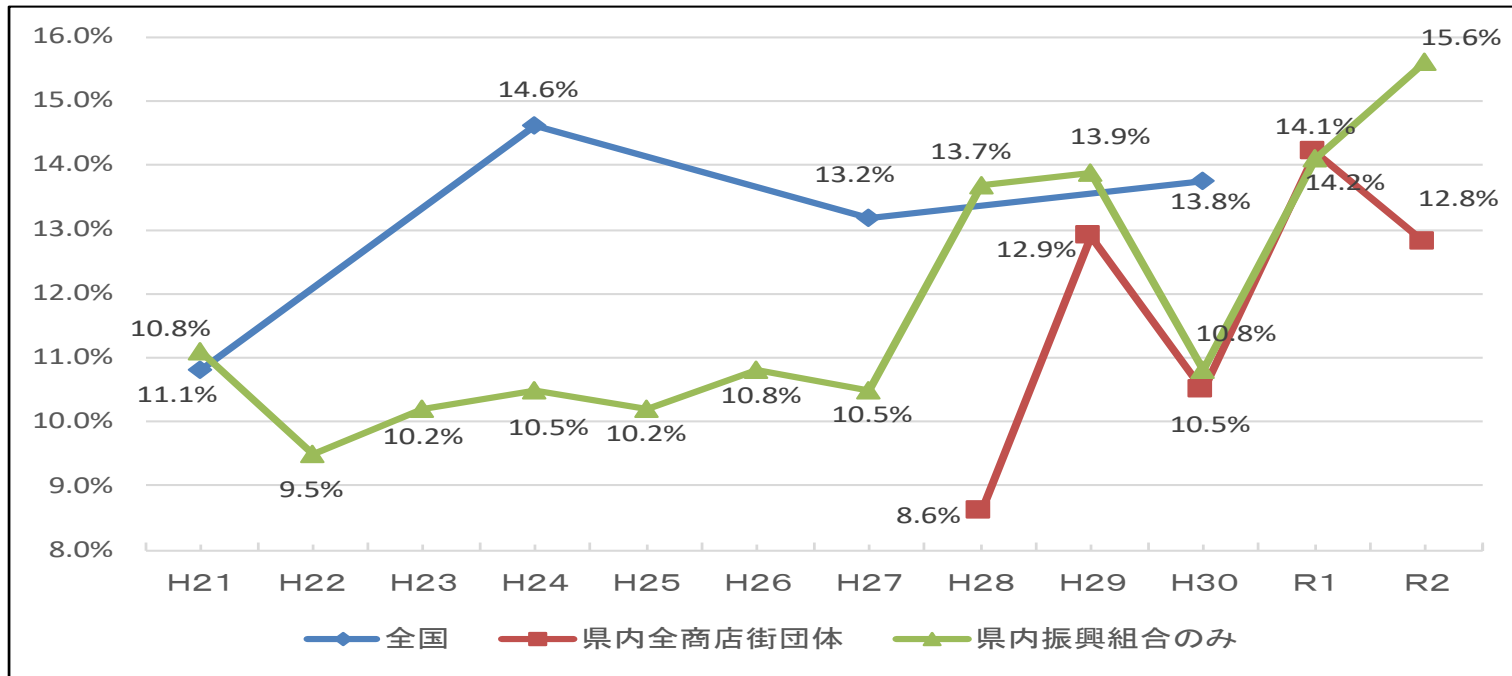
■ 「空き店舗率」について

- ・有効回答数：51団体
- ・平均値：12.8%



問1 貴商店街の現状（令和3年1月31日現在）

■ 「空き店舗率」の推移について



※全国調査（商店街実態調査報告書（3年に1度実施）：中小企業庁）と県調査では空き店舗の定義が異なるため、単純比較はできない

全国調査：従前は店舗であったものが現状空きスペース（空き地、空きビル、空き倉庫等）になっているもの
県調査：従前商店として利用されていたものであって、内外装を施す程度で店舗として利用できるもの

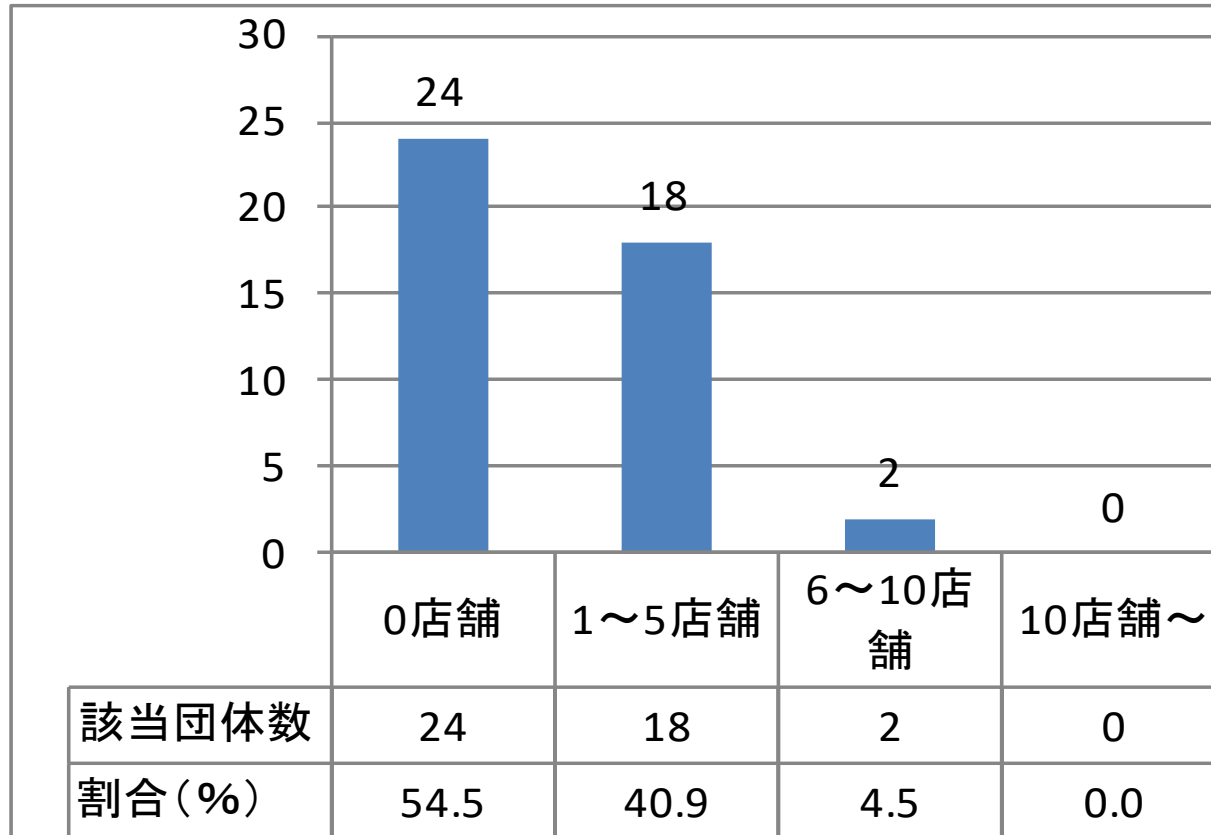
※H28全国値（平成28年度商店街空き店舗実態調査報告書；中小企業庁）は、平成27年度商店街実態調査報告書とも空き店舗の定義が異なるため参考値。（定義：従前は店舗であったものが、店舗として利用可能な状態でありながら利用の予定がない（所有者の利用の意志がない場合も含む）建物）

問1 貴商店街の現状（令和3年1月31日現在）

■ 「新規出店数」について

- ・有効回答数：45団体
- ・合計値：78店舗
- ・平均値：1.73店舗

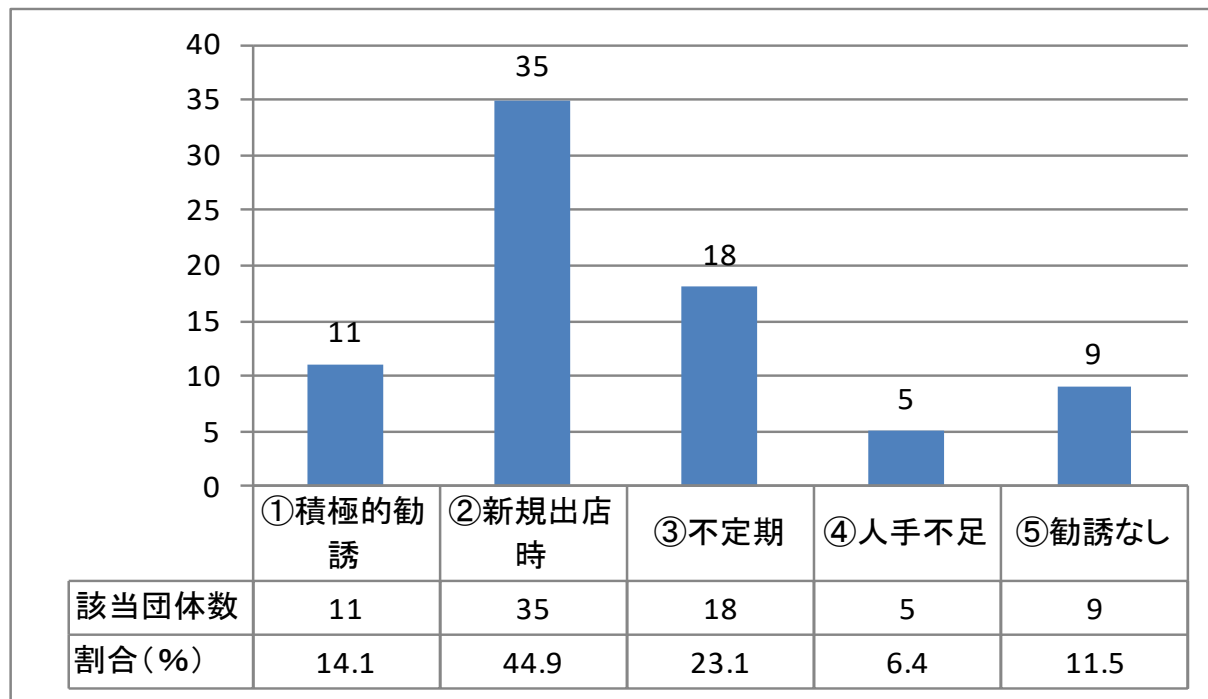
新規出店数：令和元年11月1日～令和2年10月31日に新規出店した店舗数



問2 会員の勧誘活動状況（複数回答可）

有効回答数：57団体

- ①役員等が積極的に未加入店舗を訪問し、勧誘している。
- ②新規出店の際、勧誘している。
- ③不定期に勧誘活動を行っている。
- ④勧誘を行いたいが、人手が足りない。
- ⑤特に勧誘活動を行っていない。
- ⑥その他

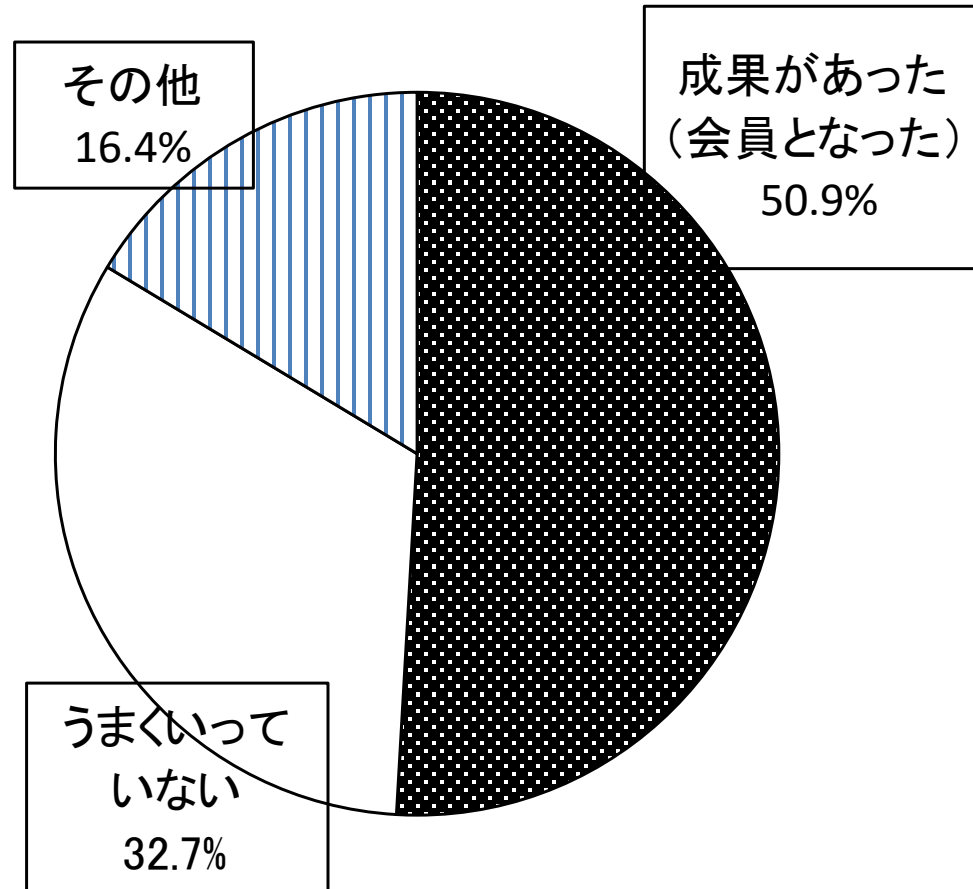


問3 勧誘活動の効果

※問2で勧誘活動を行っている
と答えた団体のみ回答

有効回答数：54団体

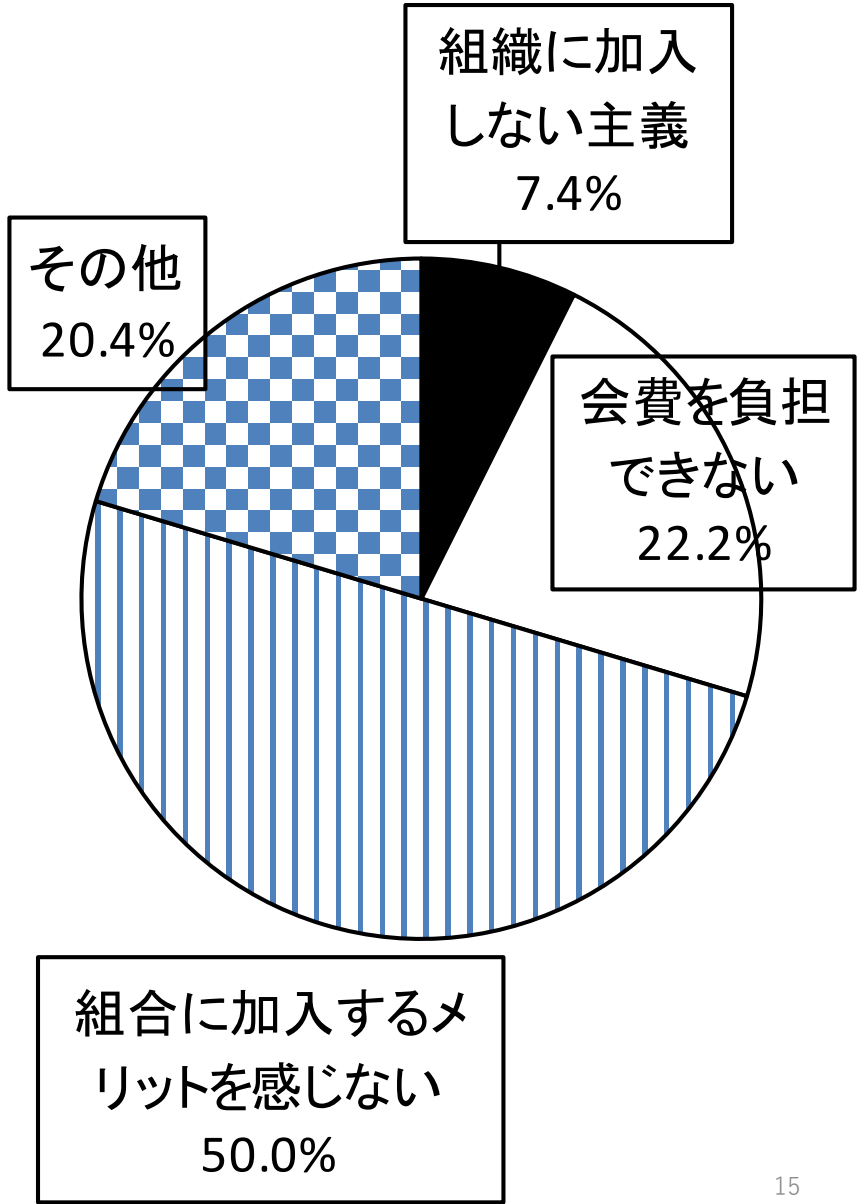
- ①成果があった（会員となった）
- ②うまくいってない
- ③その他



問4 商店街組合等への未加入の理由のうち最も多いもの

有効回答数：39団体

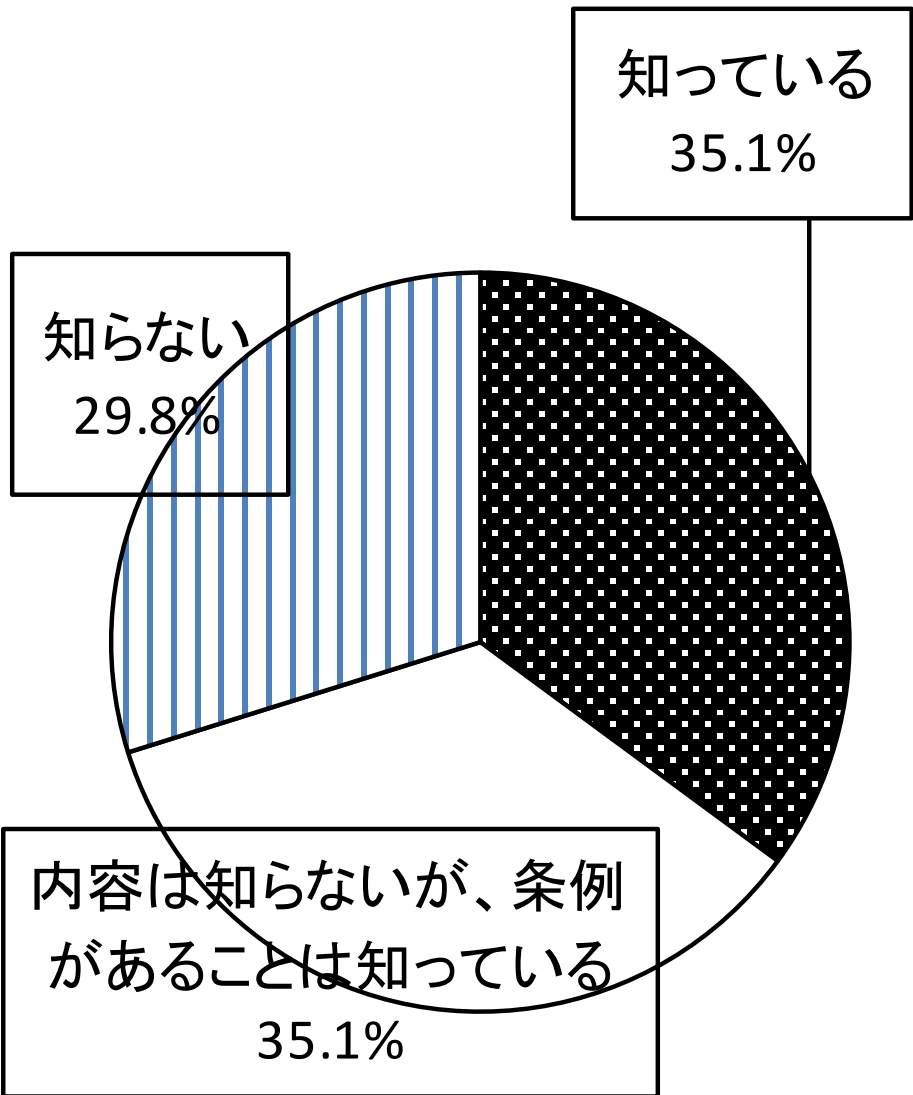
- ① 組織に加入しない主義である
- ② 会費を負担できない
- ③ 組合等に参加するメリットを感じない
- ④ その他



問5 「大分県小売事業者等によるまちづくりの推進に関する条例」

有効回答数：57団体

- ①知っている
- ②内容までは知らないが、条例があることは知っている
- ③知らない

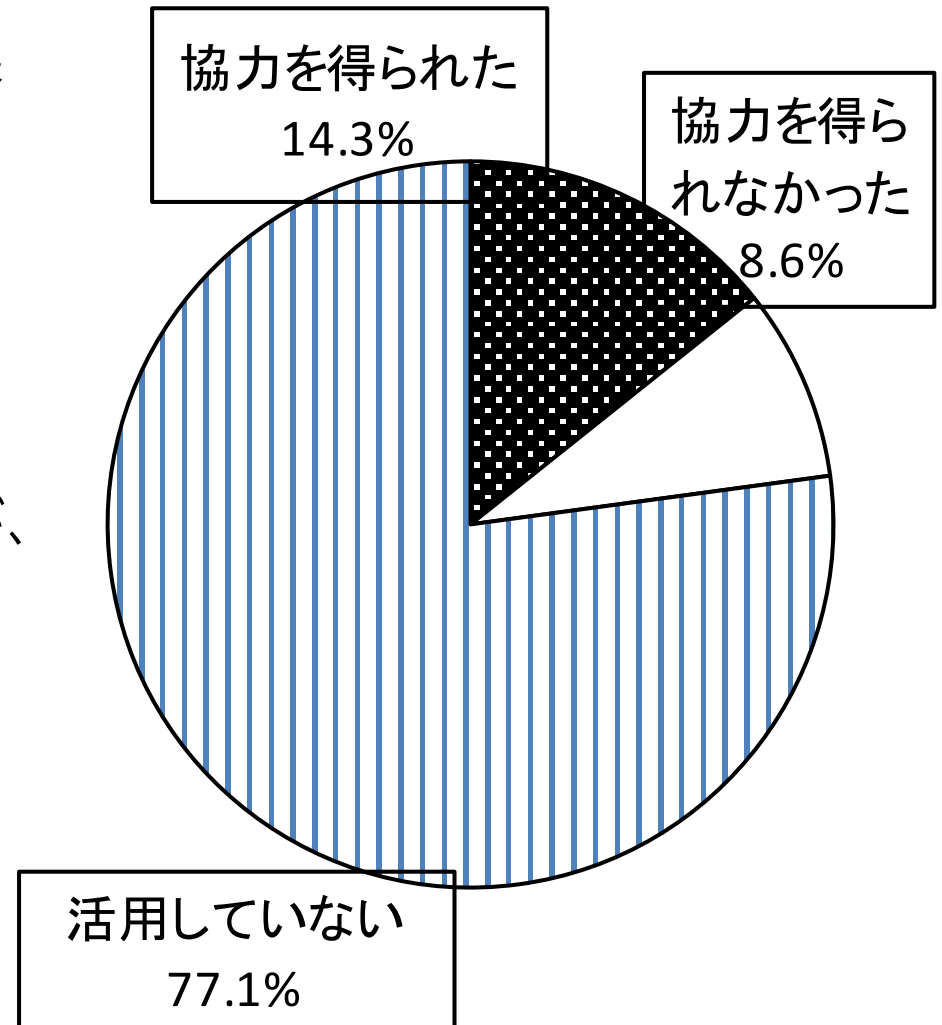


問 6 条例の活用状況において最も近いもの

※問5で①知っていると言った団体のみ回答

有効回答数：35団体

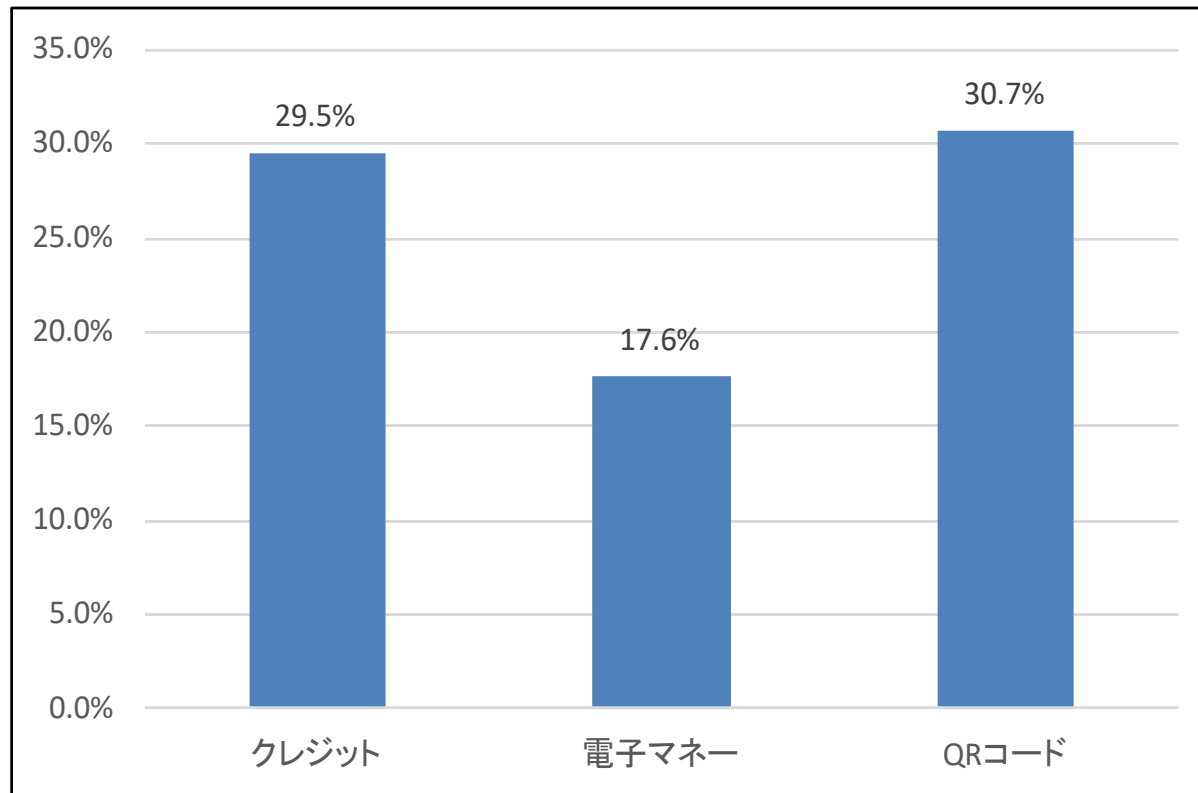
- ①条例を示して協力を依頼し、実際に協力を得られた
- ②条例を示して協力を依頼したが、協力を得られなかった
- ③特に活用していない



問7 商店街組織の会員店舗のキャッシュレス導入率

有効回答数：38団体

- ・全会員店舗数：1271店舗
- ・クレジットカード：375店舗
- ・電子マネー：224店舗
- ・QRコード：390店舗



問8 目標、ビジョンの設定

■設定している 17団体

他県の事例：

①神奈川県横浜市「六角商店街」

…人と人とのふれあいのまち、安心安全なまち、次世代へと受け継がれるまち

②京都府京都市「祇園商店街」

…氏子としての使命と、「まち」の結びつき、「まち」としての環境整備とあるべき姿、「まち」と自然環境との共生

- ◆明るい街づくり、みんなが集まる街づくり
- ◆安心、ふれあいのある街づくり
- ◆ひと（人・高齢者）、環境にやさしいまちづくり

ほか

問9 今後取り組みたいこと（自由記載）

- ◆安心、安全な商店街
- ◆県外客への誘客が出来ないため県内、地元客を見込んだ商売
- ◆モニターを設置し、広告収入を得ることで
組合会費を減額することで新規入店しやすくする
- ◆会の存続に努める
- ◆商店街、駐車場に防犯カメラの設置
- ◆老朽化、利便性向上のため事務所移転
- ◆街路灯のLED化
- ◆会員の増強

ほか

問9 県による支援を期待すること（自由記載）

- ◆マーケティング調査
- ◆ハード面での補助金等の支援
- ◆店舗の負担等への支援
- ◆アフターコロナにV字回復するための支援
- ◆Go To 商店街の早期再開
- ◆県内のみでのGo To トラベルの実施
- ◆イベント補助（100%）

ほか